ご使用の際は、巻末の（使用上のご注意）を必ずお読みください

取扱説明書番号
D216-RGXD

室内用

電波時計　取扱説明書

（デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元　リズム株式会社

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

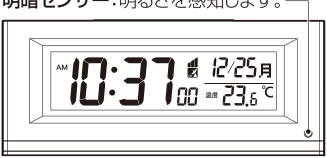
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

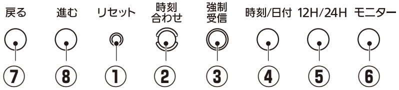
（正面）

明暗センサー：明るさを感知します。



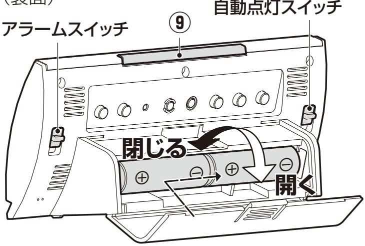
※液晶の表示は見る方向により薄くなったりムラになったりします。

（裏面操作部）



①リセット ―― 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に爪楊枝など細い棒状のもので押す。
押すと2011年1月1日午前12：00、アラーム時刻午前6：00になります。

（裏面）



単3形アルカリ乾電池（推奨）　2個

1個目の電池は、左側に入れてから右側に移動させてください。

②**時刻合わせ**	手動で日時を合わせるときに使用。
③**強制受信**	すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
④**時刻/日付**	時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押す。
⑤12H/24H	時刻の表示形式を切り替えるときに押す。
⑥**モニター**	アラーム音を試聴するときに使用。
⑦**戻る** ⑧**進む**	アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
⑨**スヌーズ/ライトボタン**	押すと鳴っているアラームが一時停止します。また、約3秒間液晶表示部を照明します。

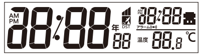
⚠ 注意　**電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。**

1 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

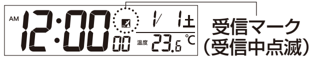
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



電池を入れた直後やリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12：00、アラーム時刻 午前6：00に設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ 電池を2個入れる

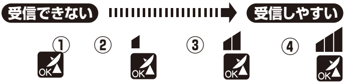
❷ リセットボタンを押す

受信マークが点滅し受信を開始します。
※誤作動を防ぐため必ず押してください。
※受信中はボタンに触れないでください。

❸ 20分待って受信結果を確認する

受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。
【受信の流れと表示】参照

○電池を入れたときやリセットを押すと短く電子音が鳴ります。電波受信機能がOFF

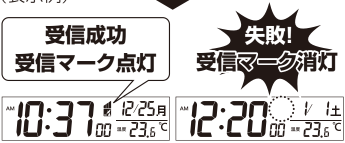


チェック！

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

最長20分後〈受信終了〉

（表示例）



- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

のときは電子音は鳴りません。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻るボタン**を押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して、受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できない場合

- **朝までそのままにしておく**
  一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

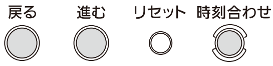
- **場所を変える/受信をやり直す**
  電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年（西暦）、月、日、時刻（時/分）の順に設定してください。

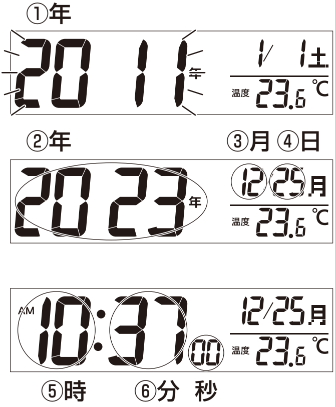
（裏面操作部）



操作例：2023年12月25日 午前10：37
に合わせる

①年（西暦）が点滅するまで**時刻合わせボタン**

を約2秒間押し続ける。



点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

②年（西暦）を合わせる

③月を合わせる　④日を合わせる

⑤時を合わせる　⑥分を合わせる

※分のときに進むまたは戻るを押すと秒が00になります。

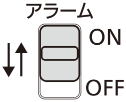
以上で設定は終わりです。

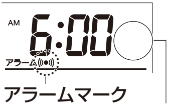
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。
- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 標準電波を受信できないときの時間精度はクオーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

アラームスイッチのON/OFF設定

ON　設定時刻にアラームが鳴る





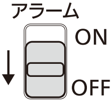
OFF 止める、鳴らさない

曜日は表示されません

○アラームスイッチをONにすると、アラームマークとアラーム時刻を表示します。

○アラームを使用しないときはOFFにしてください。OFFにしないと毎日アラームが鳴ります。

アラーム時刻を合わせる



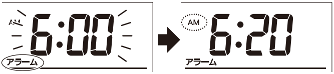
12時間表示のときは
AM/PMの表示に注意

①アラームスイッチをOFFにする

アラーム状態*のときは設定できません。

②進む/戻るボタンを押してすぐ離す

「**アラーム**」が点灯して、アラーム時刻が点滅。



＊アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

③進む/戻るボタンでアラーム時刻を合わせる

押してすぐ離すと1分単位に、押し続けると連続して変わります。

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

※現時点でアラームはOFFのままです。必要に応じてONとOFFを切り替えてください。

■オートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■アラーム音の試聴

モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。

※電波の受信中や日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態では使えません。

■スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

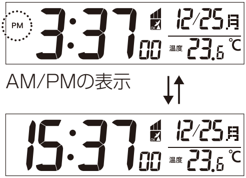
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク ((•)) が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク ((•)) は点灯表示になります。

表示の切り替え

12H/24Hボタンを押すと
時刻の表示形式が変わります。

時刻/日付ボタンを押すと
表示位置が変わります。

12時間表示

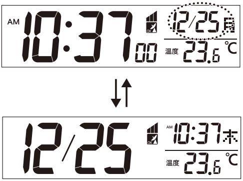


AM/PMの表示

24時間表示

00:00 00～23:59 59 表示

時刻優先



日付優先

この表示部は、アラームスイッチがONのときはアラーム時刻が表示され、日付または現在時刻を表示しなくなります。

次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

●電波の受信中　●アラーム状態　●アラーム時刻、カレンダー、時刻の設定中。

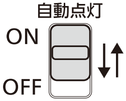
液晶表示の照明と角度調節

自動点灯
（裏面）

自動点灯スイッチをONにすると、明暗センサー

角度調節

照明されているときは、正面やや上方より



と連動して、暗くなると液晶表示面を照明します。

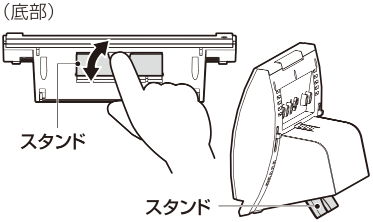
電波を受信しやすくするため、**電波を受信しているときは消灯します。**昼間や室内照明がされていても、明暗センサーが暗いと判別したときは点灯します。

手動点灯

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間、自動点灯より明るく照明されます。

見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

下図のように、スタンドを引き起こすと角度を変えることができます。


（底部）
スタンド
スタンド

温度表示について

本製品は一般的な家庭やオフィスの室内用です。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

○設置する高さによっても温度に違いがでます。

○センサーが時計内部にあるため、周囲の温度の変化をすぐには反映しません。

○温度の測定は1分間隔で行います。

※温度の厳密な管理、温度の証明や取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃を超える高温　「LL.L」−9.9℃未満の低温

電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠ 注意

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。液漏れや発熱、破裂を防ぐために次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったら速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
  電池は照明機能を使用しないと長持ちしますが、放置すると液漏れが発生しやすくなります。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押して

受信機能ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、**リセットボタン**を

ください。

○「ピィ」と鳴ってから押してください。

○OFFになると「ピィ」と鳴りません。

○日付と時刻は手動で合わせてください。

押して離すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。

○標準電波を定期的に受信して日時を合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

※電池を入れない状態で、放置すると受信機能はONになります。

強制受信について

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時やアラーム時刻は継続して表示します。
アラーム状態（アラームが鳴っている、スヌーズ中）のときや日時またはアラーム時刻を設定しているとき、受信機能がOFFになっているときは強制受信ボタンを押しても受信を開始しません。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10〜 50℃（液晶表示可読温度範囲0〜40℃）＊結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合　平均月差±30秒（常温中のクオーツ精度）
推奨電池	単3形アルカリ乾電池　JIS規格　LR6　1.5V　2個
電池寿命	約1年　（1日当たり、アラームを30秒鳴らして7時間自動照明を使用）
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	8回/日
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の16分40秒に受信を開始
受信ON/OFF	あり　ボタン操作にて切替可能

アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	電子音
スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
オートストップ	アラーム音が連続2分で自動停止
音量調節	なし
カレンダー	2011 〜 2099年対応
防滴防塵機能	なし

温度表示	−9.9 〜 50℃
温度精度	±2℃　　測定範囲内
照明	液晶表示面を照明
暗所自動照明	明暗センサーと連動して暗所自動点灯
手動照明	スヌーズボタンを押すと約3秒間照明
明るさ調節	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなったりすることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、むらに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　　保証書　1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。 ❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

⚠注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない

液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。（例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池）　※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

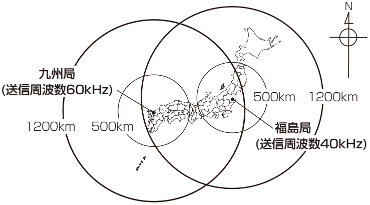
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが 受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先
リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号（型番）をご確認ください。例. 8RZ○○○

お客様相談室：0120-557-005　受付時間 9:00〜17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。